

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (沖縄)	◎	その他飲食店 〔ファースト フード〕（総務 部）	来客数の動き	・政治的な問題によるインバウンドの影響は少ない。インバウンドが減少した分、地元客や国内観光客の割合が増加したため売上への影響はみられない。
	○	一般小売店〔土 産〕（営業部 長）	来客数の動き	・前月に比べて修学旅行生は減少しているが、例年や3か月前と比較すると多くみられる。
	○	スーパー（企画 担当）	販売量の動き	・3か月前は旧盆期間の繁忙期に当たるため単純比較は難しいものの、売上予算は3か月前は下回ったが、今月は上回るとみられる。
	○	コンビニ（経営 者）	お客様の様子	・総菜や弁当の客単価が上昇して売上が伸びている。
	○	その他専門店 〔書籍〕（部 長）	販売量の動き	・文具の売上が大幅に前年を上回っている。インバウンドや県民の消費も増加している。
	○	一般レストラン （代表者）	来客数の動き	・忘年会の増加と、ボーナス時期による来客数の増加もあり、客単価も上がり良くなっている。
	○	観光型ホテル （総支配人）	来客数の動き	・オフシーズンでも来客数は堅調に推移している。
	○	通信会社（サー ビス担当）	販売量の動き	・12月はボーナス時期の買換え需要に加え、乗換えキャンペーンの影響により、3か月前と比べて販売数が増加している。料金プラン見直しの相談も増え、契約につながりやすい状況となっている。
	□	商店街（代表 者）	来客数の動き	・小売店が閉店した場所に飲食店が入るなど、飲食店が近年多くなり、小売店が減少しているため、小売店の来客数が減少している。
	□	一般小売店 〔酒〕（店長）	単価の動き	・日中関係により、中国からのインバウンドが減少し飲食業も対策ができていない。
	□	スーパー（店舗 管理）	単価の動き	・物価高による個人消費の冷え込みが継続している。特にイベントの客単価が下がり、支出額が減少している。クリスマスやお歳暮などの年末に向けた祭事需要が、前年と比べて芳しくない。
	□	コンビニ（店 長）	販売量の動き	・来客数は鈍化しているが、物価高の影響により客単価が前年や直近を上回り、ほぼ横ばいの景気である。
	□	衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・年末が近づくにつれて来客数は増えているが、売上にはつながっていないことから、財布のひもは固くなっているようにみられる。
	□	乗用車販売店 （経理担当）	お客様の様子	・客の購買意欲は健在とみられる。
	□	その他専門店 〔陶器〕（製 造）	販売量の動き	・注文数は変わらず良い方であるが、取引先によっては観光客が減少したと聞いている。
	□	旅行代理店（マ ネージャー）	販売量の動き	・一部のインバウンド需要が減少したことで宿泊料金などが2～3割ほど安くなっているが、急な値下げのため販売にはつながっていない。
	□	通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・3か月前と比較してそれほど変わらない。今後は日本銀行の利上げによる影響が懸念される。
	□	住宅販売会社 （役員）	単価の動き	・限られた用地案件と建築費の更なる高騰でマンションの供給が一段と難しい状況である。県内の供給も先細り感がみられる。
	□	住宅販売会社 （営業担当）	お客様の様子	・分譲住宅について前向きな検討の動きが引き続きみられている。
	▲	百貨店（経営担 当）	単価の動き	・12月に入ったが、平均気温が下がらず高単価の冬物衣料などの動向が鈍い。
	▲	コンビニ（経営 企画担当）	来客数の動き	・中国からのインバウンド減少による影響が出ており、客足が減少傾向に転じている。
	▲	観光型ホテル （専務取締役）	来客数の動き	・海外及び国内の大型案件のキャンセルが数件発生したため、宿泊者数が計画より低い数字となり、客単価は減少傾向となっている。
	▲	観光型ホテル （企画担当）	販売量の動き	・9月の販売室数が前年比19%増加なのに対し、12月は前年比7%増加で、増加幅が小さくなっている。

	▲	観光名所（職員）	来客数の動き	・12月後半より雨天が続き、屋外施設も多いため、来場者数が減少している。
	×	家電量販店（営業担当）	来客数の動き	・前年は、電気通信事業法改正前の駆け込み需要により携帯電話の売上が大きく伸長したが、今年度は反動減が大きい。
	×	その他飲食店〔バー〕（経営者）	来客数の動き	・今までの年末で経験がないほど暇であることから、世間が支出を抑えている状況がみられる。
企業 動向 関連  （沖縄）	◎	—	—	—
	○	輸送業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・前年と比べ増収増益となっている。
	○	通信業（総務）	それ以外	・日中関係による影響が懸念されるが、台湾や韓国からのインバウンドは好調である。また、スポーツ観戦においても、来客数のにぎわいがみられる。
	□	食料品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・年末商戦は始まっているが、3か月前と同様に一般消費者の財布のひもは固くなっている。観光関連の消費は引き続き好調に推移している。
	□	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・公共工事、民間工事共に見積依頼や受注に大きな変化はみられない。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事は前年割れしているが、民間工事は順調に受注できている。今月も引き合いがあり、来年着工予定案件の見積依頼がある。
	□	会計事務所（所長）	それ以外	・賃上げも徐々に浸透しつつある。物価高だがガソリン暫定税率廃止が消費性向に影響する可能性があるとみられる。
	▲	—	—	—
	×	*	*	*
	◎	—	—	—
雇用 関連  （沖縄）	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・2027年卒向けの説明会の依頼及び求人票提出がかなり増えている。
	□	人材派遣会社（総務担当）	周辺企業の様子	・最低賃金の引上げに伴う派遣先への値上げ交渉等、今後中小企業への影響が大きくなるとみている。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年同月比で求人数は減少したが、求人者から人手不足の相談は多い。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	それ以外	・年末年始で少し活気はあるが、家計での節約は変わらない。
	▲	求人情報誌製作会社（審査）	求人数の動き	・年末で求職者の動きが鈍化して、求人の出し控えがみられる。また、最低賃金引上げに対応が追い付いていない企業も一定数みられる。
	×	—	—	—
	◎	—	—	—